

「市長の顔が見えない」との声に応えるべきでは？

民報
おうしゅう
読者版

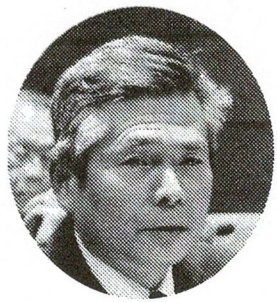
発行 所
赤旗奥州出張所
水沢大町3丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

2月定例会における日本共産党市議団の一般質問について続報をお伝えします。今野裕文議員は、2月28日、登壇して「市政運営について」、「新型コロナ感染症への対応について」市長に質問しました。

今野裕文議員は、最近、「倉成市長の顔が見えない」とか、「私達には顔を出さない」といふ声が多く聞かれる。気の早い方は、「もう選挙に出る気はないのか」と言う方すらいるとして、もう少し市民に顔が見える活動を強化し、市民の皆さんの多様な意見を聞く機会を持つべきではないかと質しました。

キーパーソンとなる方との懇談を大切にしてきた

倉成淳市長は、地域特性を生かした未来創造型の施策を推進するに当り、キーパーソンとなる方々との懇談も大切にしてきた。政策立案、職員との方針や方向性の共有に時間を割いてきた。また、各種プロジェクト事業の早期実現に向けた国や県、民間事業者へのトップセールス等に主眼を置き、円滑な市政運営となるよう牽引してきたと強調しました。



今野裕文議員

「門前払い」とならない

市政運営が必要

今野裕文議員は、意見が違おう方、市長から見て無理難題と言えらることを主張される方ともキチッと向き合う必要

要があるのではないかと、門前払いされたようなイメージで捉えられないような市政運営が必要でないかと質しました。

首長のポリシーも

大切にしていたきたい

倉成淳市長は、「首長にもポリシーがある」とし、「多様性の時代、それは大切にしていたきたい」と述べ、広報広聴機能の強化で、市長の考え方がわかるような活動をしてきた。

奥州市民だけではなく、県内ひいては全国の人たちに奥州市の考え方を伝えることにもなり、ご理解をいただきたいと述べました。

新型コロナウイルス感染症5類移行後も、各種支援の継続が必要でないか？

今野裕文議員は、感染状況が第10波ともいえる状況で、感染者数が、奥州保健所管内が最多になるケースが多いことから、各種施設感染者等への支援を5類移行後も継続が必要だとし、以下5点について倉成淳市長の見解を質しました。

- ① 感染状況、クラスターの発生状況、入院状況等の情報発信を定期的に行うこと。
- ② 感染拡大の状況を踏まえて、基本的感染対策の徹底を図ること。



- ③ 医療施設、高齢者施設、学校・保育施設等でのクラスター対策を徹底すること。
- ④ 検査体制が弱体化しないよう必要な支援の継続を強化すること。
- ⑤ 病床確保のための財政支援を行うこと、ワクチン接種の促進と公費負担の継続を求めること。



日本共産党
衆議院議員
高橋ちづ子

大船渡市議選&演説会

3月24日

4月14日告示の岩手県大船渡市議選滝田松男 山本和義 両市議の演説会。市民アンケートでは、自民党の裏金問題に、真相解明を、税金払え、など怒りの声。

市民の生活は苦しい、が85%も！子ども医療費高校生まで窓口負担なし。国保引き下げ、地元就職者に奨学金返済支援など、実績抜群！

大船渡演説会。能登半島地震の調査や質問の紹介をしながら、3・11以降市



Facebook より

議団とともに取り組んできたことを紹介。仮設から公営に移るのが困難な被災者に福祉部局が住宅部局と連携して対応した大船渡市。市役所、商工会議所、わかめの加工、高台移転先の皆さんなど色々訪ねて質問してきました。

65歳以上の予防接種への支援策を検討する

支援策を検討する

倉成淳市長は、奥州保健所管内で感染者が多い理由は分かっているとしたうえで、①県のホームページに掲載されており市のホームページにリンクする形を取っている。②市のホームページで改めて周知した。③特に感染対策には注意を払って対応しており、県が引き続き抗原検査の費用を負担している。④県が費用負担し、検査体制を整えている。⑤無料でのワクチン接種は、3月31日までで、65歳以上の高齢者について、他の自治体の動向を見ながら6月補正で接種費用の支援を計上したいと答えました。